

# Porous model 1 screen type 施工ポイント

ポラスモデル1

スクリーンタイプ

## [ 割り付け ]

支柱を立てる前に必ず、現品を設置される幅に並べて現品寸法を測定して下さい。  
やきものため寸法・形状誤差があります。

## 横方向

製品の穴芯ピッチで支柱を立てる。(製品には中央に1ヶ所の穴があります)

基本的なピッチは現品測定寸法+1~2mm前後。(図1参照)

製品には寸法誤差がありますので製品と製品の間に1~2mm程度逃げを見て下さい。

## 縦方向

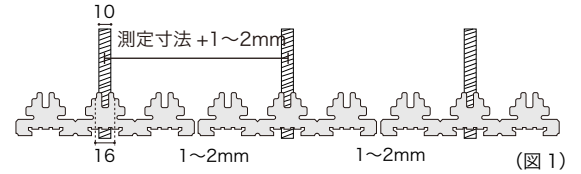
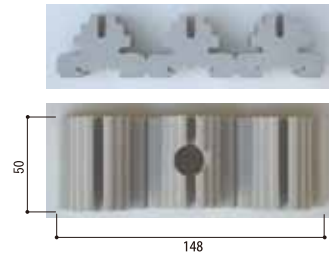
パターンA, パターンC又は、パターンAとCのミックス貼りなどにより異なりますが

製品寸法の誤差、ボンドの厚みによっても違いが生じます。(ボンドは弾性接着剤を推奨)

又、フラットバーの厚み、使用数によっても異なります。

上部にて高さ方向のおさまりの誤差を調整できる工夫を事前にご検討下さい。

\*上部を座金、ナットで締めると製品の面が一層安定しますので現場にて状況をご判断頂きながら対応下さい。



## [ 組み立て ]

製品中央の穴に支柱を通し、水平、垂直 前後の面を調整しながらボンドで接着し組み上げます。

支柱と製品の穴の隙間にはボンドを充填、上下の製品はボンド接着します。

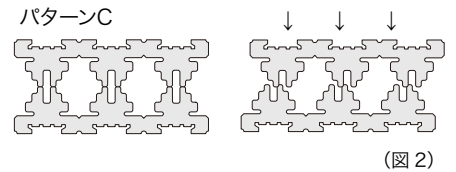
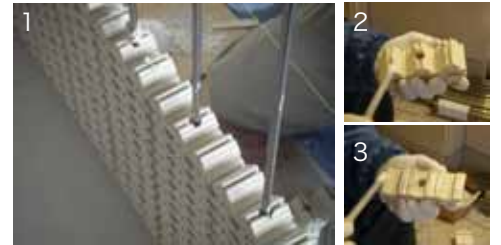
支柱を径10mm前後にすると前後の面調整がしやすくなります。(製品の穴16mm、クリアランス約6mm)

(写真 1 2 3 参照)

ボンドが硬化する前に、どんどん積み上げていくと製品自重で水平レベルが出にくくなります。

全体バランスをご判断頂き時間をかけてゆっくりすすめていただくことをおすすめします。

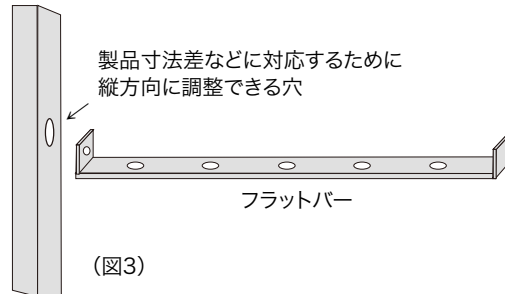
また、Cパターン貼りは製品自重ですれることがありますのでご注意下さい。(図2参照)



## [ フラットバー ]

フラットバーの厚みは3~5mmぐらいをご使用下さい。

高さ方向(400~500mm前後)で横方向にフラットバーを入れ、左右のフレームと固定することで、強度とともに製品寸法誤差を少なくし、水平レベルをつくりやすくなります。(写真 4 参照)



\*フラットバー・支柱・左右上下のフレームなどの金物は、現場毎にご用意下さい。

## [ 強度保持 ]

設置面の左右には強度保持の為のフレームが必要です。

また、横幅方向 1500mm 程度に中間フレームの設置をご検討下さい。

## [ 上下での支柱固定参考図 ]

